神戸新聞 2014年04月07日 月曜日 面名 北播 １３ 21ページ

NEXTに動画

手作業で鮮やかに染め上がったこいのぼり
＝加東市大畑

大空コイしい 播州鯉 加東で生産ピーク

端午の節句を祝うこいのぼりの生産が加東市内で最盛期を迎えている。「播州鯉（ばんしゅうごい）」と呼ばれる特産品。職人が手作業で丹念に染め上げる工場では、赤、青、黒などのコイが群れを成し、純白の布地の上を泳いでいる。

農閑期の仕事として、明治30年ごろから始まった伝統産業。堺市から持ち帰ったという技術を現在は2軒が受け継ぐ。かつては綿布を染め上げていたが、今はポリエステルなど化学繊維が主流。木や布などで作った型で文様を写した後、蒸し、水洗いを経て染め上げ、裁断と縫製を行う。

生産は例年11月から始まり4月半ばまで続くが、今年は消費税増税の影響からピークは前倒しに。柴崎物産の柴崎彰孝さん(63)は「3月末までの納品希望が多かった」と汗をぬぐっていた。（中西幸大）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①「播州鯉」の歴史やとくちょうについて、次の（　　）内をうめましょう。

（　　）ごろ、農閑期の仕事として始まった（　　）で、（　　）の特産品となっている。使っている布は昔は（　　）、今は（　　）などが多い。

名前【　　】

②播州鯉が完成するまでの作業について、記事から分かる言葉を（　　）内に書きましょう。

文様を（　　）す ⇓ （　　）す ⇓

水で（　　）う ⇓ （　　）める ⇓ （　　） ⇓ （　　）

③「大空コイしい」という見出しは、記事のどの部分からつけた見出しだと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

学びポイント！

・「こいのぼり」を掲げる人の気持ちを想像してみましょう。

・大空を泳ぐこいのぼりを見たことがありますか？　出かけた時に探してみよう。